

# 【概要版】タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針（素案） 令和5年(2023年)2月

竣工から25年以上が経過している当該施設について、観光交流拠点としての再生を図るため、施設保全の改修だけではなく、公民連携手法による機能見直しや付加価値創出を含むリノベーションとして検討を進めています。

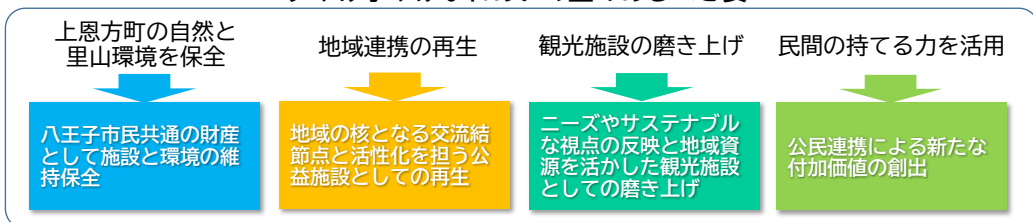
今後の目指すべき施設再生の姿を「タヤけ小やけふれあいの里リノベーション基本方針」として示すことで、民間活力の導入に向けた民間事業者へのサウンディング調査等を進め、リノベーションの内容や手法についての具体的な検討を進めます。

## リノベーションの方向性

- 賑わいの創出と地域交流の核となる魅力的な観光拠点
- 上恩方の豊かな自然環境を活かしたアウトドアの展開を視野にした施設機能の充実
- 公民連携による民間資金の導入やノウハウ活用による柔軟な運営



## タヤけ小やけふれあいの里のあるべき姿



## リノベーションのテーマ

公民連携による新たな付加価値の創出と上恩方町の豊かな自然環境を活かした地域の魅力向上や持続可能性に貢献する地域連携の核となる観光交流拠点をめざします。

## アウトドアレジャーを超えた アウトドアカルチャーの創出

- 施設開設当初からの精神を受け継ぎながら、アウトドアと地域の魅力を「耕し」、「育て」、「根差す」ことにより、『カルチャー』としての昇華を図る
- レジャーの「楽しさ」だけじゃない、「体験」「学び」「地域交流」を通じた「文化活動」の提供と、地域の「観光交流文化」を耕し・育て・根差すことをめざす
- ハードのリノベーションに加え、八王子・恩方地区らしいオリジナル性の高い運営、地域と連携したソフトコンテンツ・プログラムへとアップデート

## リノベーションの範囲

- 民間事業者の資金の導入やノウハウの活用を想定した公民連携手法によるリノベーション
- 既存建物を有効かつ効率的に利用し、時代に応じた機能の見直しと新たな付加価値を創出するリノベーション
- 恩方地域の観光やまちづくりの核となる公共施設としてのリノベーション
- 民間の資金やノウハウを活用し、LCC（ライフ・サイクル・コスト）として行政コストの縮減を実現するリノベーション

## 今後の進め方

- 施設機能の見直しや、スペースの活用の可能性、施設のゾーニング等については、民間事業者へのサウンディング調査等を行い、具体的な改修内容や運営方法を決定していく。
- 恩方地域の地域資源の発掘や調査、情報収集を行い、積極的な地域連携が図れるよう検討を進める。
- 民間事業者のノウハウを發揮できるように運営制度検討や民間事業者との連携事業についての調査・研究を進めた上で、民間事業者の公募に向け、条件の検討や整理を進める。

